

# 令和 8 年度青梅市文化交流センター運営協議会【会議録】

令和 8 年 7 月 2 8 日

1 9 : 0 0 ~

S&Dたまぐーセンター会議室 D

出席者

(委員)

橋本委員、本田委員、斉藤委員、中林委員、増子委員、白土委員、  
桑田委員、須崎臨時委員（森本委員代理）

（欠席：森本委員、鬼塚委員）

(事務局)

平岡課長、増田所長、柘植係長、藤本主任

## 1 あいさつ

- ・会長および社会教育課長よりあいさつ。
- ・各委員自己紹介。
- ・4月より自治会関係者2名が入れ替えとなった。

## 2 前回議事録について

(委員)要点と課題、結果が端的にわかればよい。ホームページへの掲載  
も発言した委員名まで載せる必要はない。

(事務局)簡略化して作成する方向で検討する。

## 3 報告事項

(1) S & Dたまぐーセンター利用状況について (報告資料 1)

(委員)予約システムを見ると、特に土日は部屋がすべて埋まっていて  
全く予約が取れない時がある。

(事務局)市の事業や掌理団体で、一般予約より前に押さえている実情  
はある。

(委員)予約システム上で、どの団体がどういう用途で部屋を取ってい  
るか、不透明なので表示できないか。市の行事であれば、表示  
を隠す必要もないのではないか。

(事務局)利用者によっては表示を希望しない場合もある。またシステ  
ム上、市の行事だけ内容を表示するような制御が可能かどう  
かは、システム所管部署に確認する。

(委員)予約しているのに使っていない、あるいはキャンセル忘れで使  
われていない部屋が目立つようになってきている。

(事務局)ペナルティを含めた利用ルールのあり方や、利用状況の管理方法について対応策を検討する。

(委員)向かいの有料駐車場の出口精算機で、電子マネーが使えない不具合が継続中である。

(事務局)運営業者に連絡し、早期対応を要求する。

(2) 青梅市民センター利用状況について (報告資料2)

(委員)1階ロビーが色々な方のたまり場になっており、他の利用者から治安について心配の声を聞くことがある。

(事務局)利用マナーについては今後も随時対応していく。

(3) その他

- ・特になし

#### 4 協議事項

(1) 多目的ホールの利用について

(事務局)文化団体連盟から市に対して、多目的ホールの現在の運用方針である「平土間（椅子がない状態）」から、あらかじめ一定の椅子が並べられた状態を初期状態とするよう求める要望書が提出されたため、本協議会にて協議したい。

(委員)利用者の高齢化が進む中、30段近く高く積み上げられた重いスタッキングチェアを毎回下ろし、使用後に再び高所へ持ち上げて積み上げる作業は大変危険であり、大きな負担となっている。本来ホールは観客に催しを見せる場であるため、最初から椅子が並んでいる状態を標準とし、不要な団体がその都度片付ける運用へと切り替えてほしい。

(委員)現場の利用実態としては、公演会だけでなく展示会、バザー、ダンス練習、パーティーなど、椅子を使用しない平土間での利用也多岐にわたっている。また、椅子を出しっぱなし（常設化）にすると、日々の床面清掃に支障が出ることや、前の利用団体が配置を崩したまま退室した際のトラブル、管理負担の増大といった新たな不都合も懸念される。

(事務局)運用を逆転させた場合に反対の立場となる利用者にとっても同様の負担が生じる。十分な検証なしに初期配置を変更すると、「元に戻してほしい」という要望が出る可能性がある。そのため、1年程度の期間をかけて利用実態の丁寧な調査・検証を行い、全体の合意を形成していく必要がある。

(委員)当施設が「多目的ホール」として開設された趣旨や平土間利用

者の存在を踏まえると、椅子が並べられた状態を初期状態に変更することは混乱や反発を招く恐れがある。問題の本質は「高所への積み上げ作業による危険性」にあるため、まずは台車を増設して椅子の積載数を３０段から２０段程度に抑え、誰もが安全かつ容易に出し入れできる環境を整えるアプローチを最優先で実施すべきではないか。

(事務局)委員から提案された「台車を増設して積み上げる高さを低く抑えることで安全性と作業性を向上させる」という対応を最優先とし、来年度予算における台車の追加購入に向けて検討・調整を進めたい。

## (2) その他

(委員)子どもを対象とした活動で会議室を使用する際、キャスター付きの椅子しかなく危険なため、キャスターの無い椅子をわざわざ他の階から運んでいる。各階にキャスターの無い椅子を配備できないか。

(事務局)配置バランスを検討する。

## 5 閉 会

- ・次回開催は令和９年２月ごろを予定。